



南小だより

鶴岡市立櫛引南小学校
発行日 令和5年12月27日

第2回学校運営協議会（南小を皆で語らナイト）の報告

12月8日の夜、東荒屋公民館を会場に、第2回学校運営協議会を行いました。今回は、4年ぶりとなる「南小を皆で語らナイト」と兼ねての開催とさせていただきます。

当日ご出席いただいた委員の皆さまからは、「今後、児童数・学級数が減少していく中、子ども達がより良く育つために、地域と学校はどのように協働していくといいか？」というテーマについて、それぞれのお立場から様々なご意見を出していただきました。

今回もまた、南小の子ども達やこの地域の良さと課題について共有し合うことができたように感じたところです。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

- ◇子どもの数が少なくなることをマイナスと捉えない。一人ひとりの子どもにいていねいに関われる良さもあるし、授業の中でも子どもとの濃い関わりが期待できる。
- ◇子どもが少ないということは個性が際立つということでもある。一人ひとりの個性を輝かせられるよう大事にしていきたい。
- ◇子どもの数が少ないのは、一人ひとりに関われる時間が増えるからメリットにもなる。
- ◇少ない子ども達を、地域の中で大切に育てていく。
- ◇学校の規模が小さくなっていくので、PTAや同窓会で先生方のフォローをしていけたらいいと思う。学校への協力の仕方を考えたい。
- ◇児童数の減少だけでなく、これから教員の数も減っていくので先生方は大変になっていく。地域学校協働活動などのような仕組みづくりが必要になってくる。
- ◇複式学級には複式学級の良さもある。授業中での一人学びの力や、子ども同士が関わり合う力を身に付けることも期待できる。
- ◇少子化の進行により学校の統廃合も将来的に出てくるのであろうか？
- ◇子ども同士が切磋琢磨できる環境をつくるためには、櫛引地域の学校を一つにすることも決して悪いことではないように思う。
- ◇地区の中で子どもと接する機会をどう作るか？あいさつや声がけはしているが、地区の中でおもしろいことができればいい。
- ◇小中学生と一緒に活動する機会がほとんどない。一緒に活動できる場を作りたい。
- ◇地区の中で、決まった子ども同士での遊びが目立つ。異学年でも遊べるような機会や場作りを考えたい。
- ◇お年寄りが増えているので、もっとお年寄りの力を借りるといいのではないかな？



(校長 岡部 貞二)

2023 → 2024 ご支援をありがとうございました

今年も南小学校の子ども達の健やかな成長のために、温かいご支援・ご理解をいただき、大変ありがとうございました。ご家庭の皆様、地域の皆様にも心より感謝申し上げます。どうぞ、良いお年をお迎えください。